

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成13年度病虫害発生予察情報について（送付）

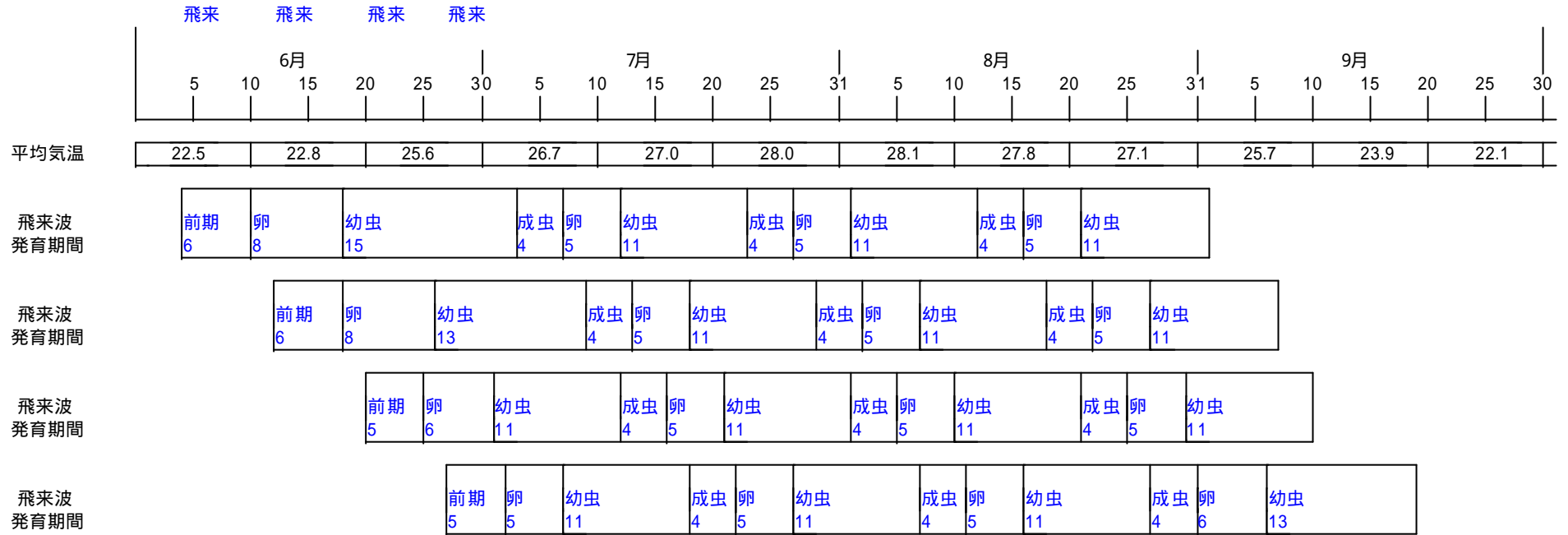
このことについて、速報第2号を発表したので送付します。

平成13年度病虫害発生予察速報第2号

- 1 対象作物 水稻
- 2 病虫害名 海外飛来性害虫
(セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ)
- 3 発生パターン図
別紙、
- 4 飛来状況
(1) 本年は6月5日、13～14日、20～21日、28～29日に飛来がみられた。主要飛来は6月5日（飛来波）と6月28日（飛来波）であった。
(2) 筑後市の予察灯のセジロウンカの誘殺数（飛来量）は6月5日で48頭、6月28日で134頭と多かった。その他の地域の予察灯では、6月までの総誘殺数は平年より少なかった。
(3) トビイロウンカは、6月28日に筑後市の予察灯で1頭誘殺された。
(4) コブノメイガは、6月21日に津屋崎町の早期水稻で成虫の発生を認めた。
- 5 防除上注意すべき事項
(1) トビイロウンカは高密度になると坪枯れを発生させることがあるので、ほ場をよく観察し、若齢幼虫期に防除を実施する。
(2) コブノメイガの薬剤散布は発蛾最盛期を目安として、防除効果の高い若齢幼虫期（発蛾最盛期から1週間後）までに行う。

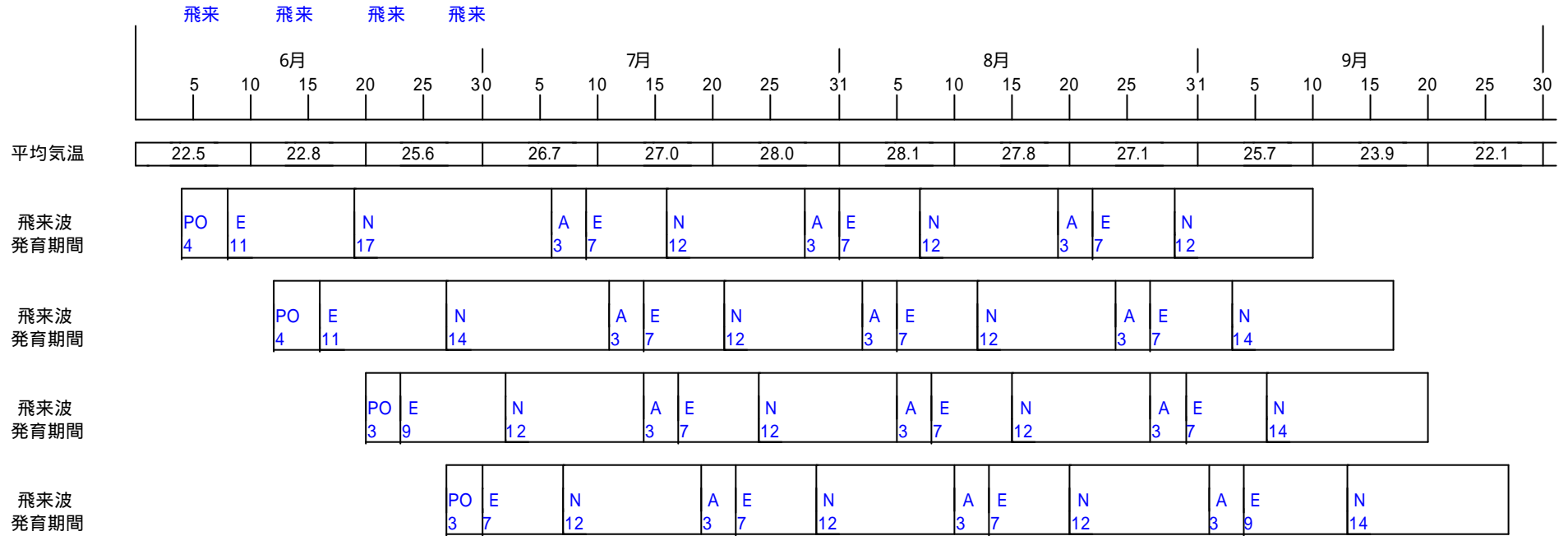
別紙

平成13年度 飛来月日に基づくセジロウンカ発生予想パターン図



別紙

平成13年度 飛来月日に基づくトビイロウンカ発生予想パターン図



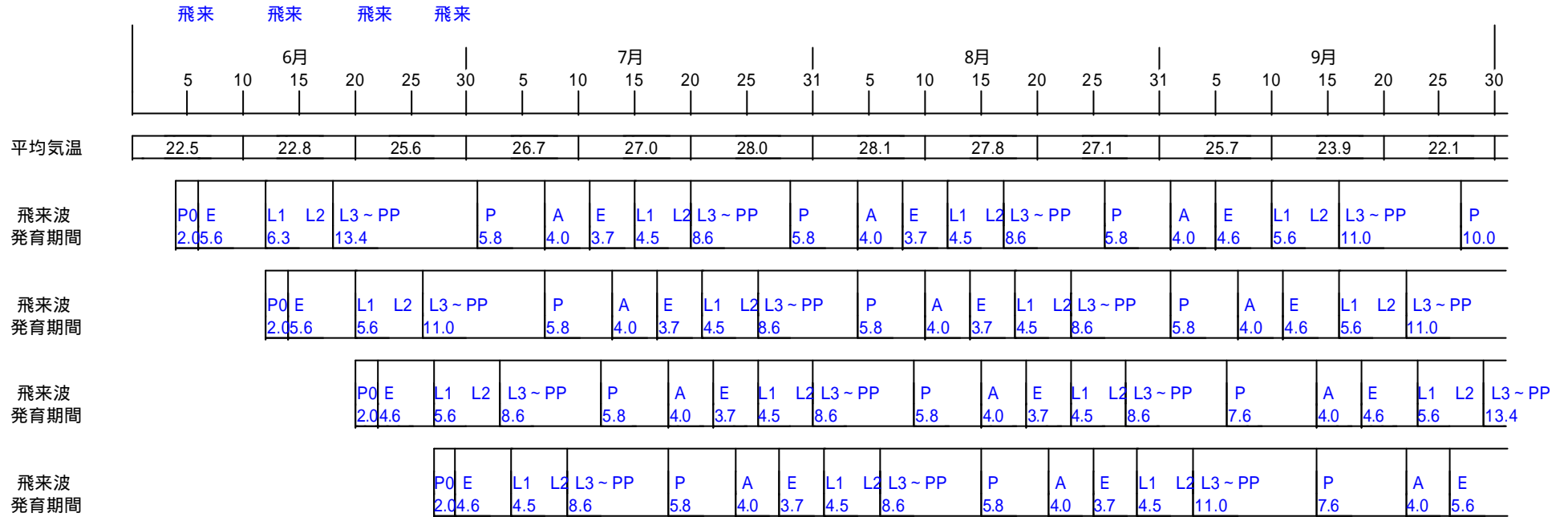
PO :産卵前期間

E:卵

N :幼虫 (不完全変態)

A :成虫

平成13年度 飛来月日に基づくコブノメイガ発生予想パターン図



PO :産卵前期間 E :卵 L : 幼虫 (完全変態) PP :前蛹 P :蛹 A :成虫

